

## 銭 函 考(1)

ようこそ銭函にいらしゃいました。そもそもここは、北海道開拓時代からある地名で、明治政府が嶋義勇判官に命じて、北海道開拓のための仮の役所を初めて設置したところである。

この史実を誰も小樽では注目してこなかったのである。

札幌と小樽の挟間にあって、隠れた穴場となっている。当てにならない行政で高度経済成長期に都市計画で、小樽の工業地帯に指定された。重厚長大がもてはやされたが、その波に乗ることもなく、小樽は斜陽都市として衰退の一途を辿っている。

ここは、札幌に接して近隣の都市よりずっと近いのである。

その上、地価が安く投資できる物件がいっぱいあるので現在の円安時代に、不動産に投資が簡単にできる環境である。



外国の投資家が投資できる自然環境にある。

札幌に近く交通アクセスがいい、地価が安い、土地利用規制が少ない等好条件が揃っているのである。

海に見える街で、リモートワークの環境も抜群である。地形のバランスがいいのである。石狩平野の端にあり、丘陵地帯もあってそれなりの傾斜があって、水道の位置エネルギーもいいのである。

今こそ、この地銭函に、企業も人も集まってこそ、メリットがあるのである。